

木通 信

Komorebi Tsushin

第28号

平成19年4月
つきだて花工房発
季刊誌

〒960-0903 福島県伊達市月舘町下手渡字寺窪7
つきだて花工房 TEL024(573)3888 FAX024(573)3887
つきだて交流館もりもり TEL024(571)1777 FAX024(571)1787
休館日/毎月第1、第3火曜日(休館日の前日は17時まで営業)
つきだて花工房ホームページ <http://odehime.or.jp/hanakobo/>

つきだて花工房は木もれ日のようなぬくもりとやさしさを持ち続けるみなさまの公共施設を目指します。

花のアルバム

アルバムの
28ページ
いちご
苺

小鳥たちが
楽しそうに歌う
流れる川面は
きらきら光り
美空には
ちぎれ雲が浮かぶ
変わらないこの風景が
なぜかうれしい



イチゴの花
加藤実さんのイチゴハウスにて(月舘町御代田)

窓辺に射し込む柔らかな光が、待ちわびた春の訪れを知らせてくれます。交流館もりもりの直売所には、赤く熟した旬のイチゴが、甘い香りを放っています。やよいひめ、紅ほっぺ、ひのしずく、章姫、ももいちご、さがほのか…普段はほとんど気にせず食べているイチゴには、まだまだたくさんさんの品種があり、こんなにも愛らしい名前がつけられているのをご存じでしたか? その形と色から「真紅のダイヤモンド」とも称されるほどの人気があり、生食での消費量は日本が世界といわれています。



ハウスの中は花ざかり

イチゴはバラ科イチゴ属の多年草。オランダ船で長崎に運ばれたことから、オランダイチゴとも呼ばれ、5弁花のキュートな白い花を咲かせます。赤く熟した実は、花を支えている花托が発達したもので、果実ではありません。表面の小さなツブツブひとつひとつが本来のイチゴの果実なのです。

ビタミンCがたっぷり

ビニールハウス内には、ミツバチの巣箱が設置されていました。デリケートなミツバチが、元気に飛び回るといことは、理想的な環境の中、安全で安心できるイチゴが栽培されているということでしょう。栽培されていたのは「とちおとめ」。栃木県生まれの

このイチゴは「大きくて日持ちがよく、酸味が少なく甘みが強い」のが特徴です。

イチゴは、果実類の中でも特にビタミンCが豊富に含まれており、6〜8粒のイチゴで、成人1日分のビタミンC所要量約100mgを摂取することができます。風邪予防、美肌効果、疲労回復、高血圧予防、ストレス対策など、幅広い効果が期待されています。

「へっつい」の魅力

手作りの「へっつい(竈)」が完成してちょうど1年が過ぎました。薪をくべ、火を焚き、手間をかけて煮炊きをする時間は、日常の生活から抜け出した開放感と、素材な充実感を味わうことができる楽しい時間です。

土間が床に、竈がシステムキッチンに、井戸が水道に、灯りが電気に…昭和20年頃を境に、生活のスタイルがどんどん変化し便利になりました。今ではなかなか見かけることのない「へっつい」ですが、交流館もりもりでは、時々あることに「へっつい」に火を入れ、昔の人々の知恵と、無駄の無い暮らしを思い起こしながら、日々の生活に活かしていきたいと思っています。



手作りの「へっつい」

なごり雪

ぞして 春つらつら

拝啓 みなさま お元気でですか
先日 思いがけずに春の雪が降りました
ふとこの冬二度も
雪掻きをしていないことに気づき驚いています
雪は春の光にキラキラと輝き
そして あつという間に消えてゆきました
うららかな季節のはじまりです
のどかな里の春を探しに
どうぞ お出かけください

あ ったか家族

柚乃ちゃんのひな祭りをお祝いしました。
温かいご家族の愛情に包まれて、柚乃
ちゃんますます愛らしく、健やかに成
長されますように(高野様、川俣町)



宿 はつきだて花工房



「金柑の甘露煮、おぼ
さんから預かってきたよ
のどにいいって。」昔と変
わらぬ優しい声で、手土
産を差し出してくれた
のは、東京でクリーニング
店を営む西海さん。お
仕事仲間で企画する恒
例の1泊旅行は、小名浜
観光がメインでありなが
ら、つきだて花工房を宿
にお選びくださいました。
感謝です。
(西海さんとお仲間、東
京都)

小 さな春探し



福島県實生流連合会会長三本菅榮二さんとお仲間
福島市 (阿部輝郎様)
今冬初めて
の雪でした。
木々の枝に雪
が積もって、
陽光がきらび
やか。自然の
すばらしさに
包まれた宿で
した。ありが
どう。

知人の案内で、春一番探しの1泊旅行。道すが
ら、小さな春を見つけることができました。楽し
みのお食事も、大変美味しくいただきました。地
元野菜中心のメニューにも感心しましたし、サー
ビスも控えめでありながらも、十分楽しめました。
(佐藤陸子様、福島市)

それぞれの時代

「年に1度、地元に住むメンバー
で行う同級会はずでに10回を超え
ている。それでも会えば懐かしいし、
うれしいねえ」と、森保男さん。
「少年時代はどんなでしたか？」
と伺うと、「とにかく腕白だった。け
んかもしたけれど、今のように刃
物なんかは使わない。みんな仲が
良かったから、そういう点ではいい
時代だったかな。終戦が近い頃は、
毎日のように空襲警報が鳴って、勉
強どころではなかった。食料も不足
していたから、食べられるものは草
でも何でも食べた時代だよ」と話
してくださいました。



昭和25年度月館中学校 第4回卒業生のみなさま

つきだて花工房の じいちゃんばなし

その日、日帰りで帰郷した千葉忠男さ
んご夫妻は、ハーブ湯に入ってから家路に着
こうと、つきだて花工房に立ち寄ってくだ
された。花工房は兄である紀男さんの勤務
先でもある。

忠男さんは月館町布川生まれ。18歳で
上京、煮豆製造会社に勤務する。勤続42
年、後年は築地店の販売部長を任せられ、3
年前、定年を機にかねてからの夢だった高
校受験に挑んだ。めでたく合格！ 学生生
活は、年の離れた同級生や先生との交流
など、学業以外にも楽しいことがたくさん
あったという。その間、忠男さんの夢はさら
に大学生活へと膨らんでゆく。

「ダメでもともと。そう思って受けた大
学に合格してね。この春からは世田谷にあ
る大学まで電車通学」と、話す表情は暗
れ暗れしている。

「家においても勉強ばかりしているんです
よ。退職金も授業料と電車代で消えちゃ
うね」とあつさり話す奥様も、「高校の卒業
式には、家族みんなで出席するつもり」と、
ご主人の人生をしっかりと後押しされている。

この春、
大学のキャ
ンパスをさ
うと歩
く忠男さ
んの姿を
思い浮かべ
ながら、い
いお話に
明日からの
パワーをい
ただいた。



前列左、千葉忠男さん(横浜市)
後列奥様、前列右、兄の紀男さん

ご案内

- 好評の会席料理企画 第3弾…日時：平成19年6月27日(水)・28日(木)・29日(金)の3日間 18:00～/料金：4,500円 要予約
- ハーブ教室…4月23日・5月28日・6月11日 すべて月曜日の10:30～/受講料：1,800円/講師：瀧田 勉 先生
- フラワーアレンジメント教室…5月20日(日) 10:00～/料金：3,800円/バラソルブーケを作ります。/講師：山中 厚子 先生

Keiichi Koyamaが歩いた

連載
9回目

川 清く流れ
水 清く潤い
今年もふるさとに
春が来た 春が来た

桜清水(さくらしみず) 月館町・糠田

県道川俣月館線沿いの薬師寺の近くにある、「女神山登山道」の案内板を入って700メートルほど上ると、道の右側に桜清水があります。桜の根が岩を抱きかかえるように伸び、その岩の根元から清水が湧き出しています。

水量は多くはありませんが、どんな早晩(かんばつ)の年でも涸れる事がない、といわれています。近くの人の生活、農業用水として大切に守られています。また、「不動の泉の名で、ふくしま湧水物語(福島民報社刊)」にも収録されており、町外からこの水を汲みにくる人の姿も見られます。



延田橋(のべたばし) 月館町・月館

月館保育園の脇の農道を南へ向かうと、広瀬川にかかる幅の狭い鉄橋があります。これが歩行者専用の延田橋です。かつては木橋でした。この辺りから上流方向を眺めると、小山が幾重にも重なり、美しい田園風景が広がります。橋のたもとには大きなクワの木があり、梅雨時には大きな甘い実を付けます。



いまだからこそ 残しておきたいことがある
いまだからこそ 伝えておきたいことがある

「手わざ師の面々」

(ワラ細工)



菅野 幸一さん 昭和2年10月15日生まれ

「自分で作らなければ、履物がなかった。次の日、裸足で出かけるようになるから、いやだなんて言っていられない。夜、一生懸命に作った。今みたいに物が豊富でなかったからなあ」

手先を休めることなく、幸一さんは話す。昔は炭焼きの番をしながら「わらぼっち」を作り、雨を凌ぐ「みの」も作った。

幸一さんは、昭和16年国民高等学校第一期卒業生。今年の誕生日が来れば満80歳になる。「もうすぐワサビの収穫が始まる。忙しくなるぞ」と張り切る。農業もまだまだ現役だ。

ワラ細工の実演は「草履」と「ぼっち」づくりが2日間に分けて行なわれ、ギョウリイからは「どうしても自分で作ってみたい!」という声も上がっていた。



飛入りで参加! 先生も驚くほど、器用にワラぼっちを作られました。

今宮秀章の

季節のひとしな

Wagashi編

みたらし団子



◆材料(8本分)

- 団子=上新粉200g 熱湯160cc
- みたらし餡=濃い口醤油75cc 砂糖110g 水110cc みりん10cc
- 片栗粉25g

◆作り方(団子)

- ① ボウルに上新粉を入れ、熱湯を加えてヘラで手早く混ぜ、人肌になったら手で少し揉み、棒状に丸める
- ② ①を濡れたガーゼに包み20分間蒸す
- ③ 蒸しあがったら手でよく揉み混ぜ、なめらかになったら平らにのばし流水に浸ける(菌切れをよくするため)
- ④ 冷めたら再び手で揉み混ぜ、棒

状にのばしたものを32等分にして丸める

⑤ 竹串に4個づつ刺し、網でこんがり焼く

(みたらし餡)

- ① 片栗粉以外の材料を全部合わせ火にかける。
 - ② 沸騰したら片栗粉でとろみをつける。
 - ③ 串刺した団子を②にくぐらせ餡を絡める
- *みたらし餡は団子を焼いてから作り熱いうちから絡める

●ポイントは…しっかり火を通すこと! やわらかく伸び、且つコシがあるのが餅菓子の特徴。しっかり火を通すことによって弾力があり、歯ごたえもよい団子に仕上がります。数日経っても柔らかくいただけますよ!

楽しい、ワクワク、あったかい! もりもりこどもフェスタを開催

<里山のくらしと遊び、一緒に体験しよう>

日時:平成19年4月28日(土) 10:00~15:00
会場:つきだて交流館もりもり

- ◆楽しい! 緑日遊び(金魚すくい、射的、ふわふわぞうさん)
- ◆わくわく! 獣拳戦隊ゲキレンジャーショー、お楽しみ抽選
- ◆あったかい! 親子ふれあい手作り体験(森のクラフト、しいたけ植菌、竹とんぼ作り) むかし遊び(紙芝居、めんこ、お手玉、竹ぼっくり、おはじき)

コンサート情報

~優しさと元気をプレゼント~ 懐かきめ風コンサート

OKINAWA POP'n Soul Music

出演:オレンジグローバー/メンバー:◆仲宗根忍(ボ-カル十三線)◆宮良直大(ギター+コーラス)◆渡慶次康之(ピアノ)◆新城早樹(パーカッション)

日時:平成19年6月18日(月) 19:00~
会場:つきだて花工房
チケット:前売 2,000円 当日 2,500円



当日は今年めずらしく小雪が舞い、旧正月の雰囲気をかもし出していました。べったんべったん、軽快な餅つきの音。子供たちはすぐに仲良しになり、顔に粉をつけながら丸め餅をつくる姿や、お父さんが本気になつて杵を持ち上げる光景にほのぼの。みんなで食べたつきだての餅はまさにモチモチで、手間をかけた分だけ、おいしくおいしくいただきました。

- 花工房ライブラリー ●フレグランスガーデン(広田 靨子)
- 花はどこから(一澤 ひろり)
- ピアノ五重奏 ます (シュベルト)
- 1600年頃の歌とリュート独奏曲 (エマ・カークビー&ヤコブ・リンドベレイ)

旧正月に餅つき体験

2月18日

旧暦に心を傾けて...

日本はかつて月の満ち欠けをもとにした太陰暦を用いて暮らした日本人の季節感を支えてきました。現在の太陽暦(新暦)が用いられたのは明治5年(1872年)からです。新暦で暮らすようになって約130年。年中行事すらも薄らぎつつある今日、もう一度、自然のリズムを感じて暮らす生活に心を傾けてみませんか?

楽・百人一首 第66巻
もろともに あはれと思え 山桜 花よりほかに 知る人もなし 大僧正行尊
大僧正行尊が、大峰山で修験道の修行をしていた時、人の踏み込まない山奥で人知れず美しく咲いている花に思いがけず出会い、しみじみと懐かしさを感じて詠んだ作品です。

伊達市誕生から1年。この街がもっともっと好きになる。



満開のさくら咲く頂上で、楽しくお弁当を広げる小学生

茶臼山桜まつり

4月8日(日)
午前9:30~

●アクセス●
福島交通バス掛田行き「金子町」下車徒歩5分
JR福島駅から車で約30分
阿武隈急行保原駅より車で約15分
駐車場あり(50台)

散り際までも美しい桜の花。はらはらと舞うその花びらに、悲しい生涯を閉じた「懸田御前」を偲び、懸田氏の歩んだ歴史を心に留めてみてください。
写真提供/スタジオさつき 瀧辺孝雄様

茶臼山(懸田城跡)を訪ねて
所在地 霊山町掛田字古城跡
霊山町のほぼ中央に位置する茶臼山は、標高225メートル。北畠顕家が霊山に城を構えていたとき、その前城として築かれた城跡です。茶臼館(桜館)とも言われ、室町時代に懸田氏豪族で本姓は大江氏が居城していました。懸田氏は伊達氏と縁戚でしたが、懸田俊宗が義兄の伊達晴宗と対立、戦いの中、家臣の中島伊勢、桜田玄番らの裏切りを受け苦境の末、滅亡に至ります。また、中島伊勢に金山城へ連れ去られた俊宗夫人の話は、「懸田御前伝説」として今も残ります。

第二回 歴史編
ちやうすやま
茶臼山(懸田城跡)を訪ねて

komorebi
ふるさと
風だより
果物の宝庫 伊達市
里の春に彩を添えるのは
桃りんご、プラムなどの花々
そして、古くから農事に関わりを持ち
庶民の暮らしの中に息づいて来たのが桜
もともとお花見は、田の神を迎えるための
「もてなし」の精神から始まったものでした。



掛田市街地からピンク色に染まる茶臼山を望む

うらかな春の陽気に誘われて、お花見にでかけましょう。忙しい毎日を忘れてバスを利用するのもおすすすめです。車窓から眺めるのどかな里の風景は、ゆつたりとした時の流れを知らせてくれます。
茶臼山公園はカスミザクラ、ウワミズザクラが自生、ソメイヨシノなど3千本以上の桜が咲き乱れます。桜の見ごろは4月中旬から下旬。誰もがその風景に「日本の春の美しさ」を実感することでしょう。

さくらさくら 豆辞典
日本最古の書に登場する「木花之間耶姫」(このはなのさくやひめ、桜のように美しい姫の意)。この姫が霞に乗って富士山の上空へ飛び花の種を蒔いて桜の花を咲かせたという話が残っています。桜の語源はこの「さくや」が転化したという説もあります。
日本の国花でもある山桜ですが、その開花が農作業のはじまりの合図とか…桜の花は今もなお、日本人の暮らしに直接結びついているようです。

お客様の声コーナー
◆つきだて花工房の皆さまお変わりありませんか。暖かい2月だと思っていたら24、25日続けて氷が張りました。二昨年は麦ナデシコをお届けしましたが、今回は燕水仙の球根を送ります。燕が飛んでいるような形で、色は真っ赤です。届き次第15cm位の深さに定植してください。5月頃には2個の花を付けると思います。お気に召しましたら是非増やしてみてください。
(高橋清様 横浜市)
花 いつも珍しい植物をお贈りいただきありがとうございます。花が咲いたらお知らせいたします。
◆墓参りで月館町に参りました。300kmの走行の疲れも、ゆつたり広い湯舟につかり、快適な部屋でくつろげたお陰で癒されました。今冬初めて、雪を窓外に見ながらの朝食も思い出になりました。
(岡田二郎様 東京都)
花 ロビーから望む風景は、いつの季節もおすすすめです。この冬、雪景色が見られたのは本当に数えるほどでした。

木もれび28号プレゼント
「山神さまの贈りもの」
人気商品の桑パウダーをはじめ、体に良い桑商品を10名様にプレゼント。
官製はがきに住所、氏名、年齢と木もれび通信28号で印象に残った記事及び感想等を記入の上、プレゼント応募券を貼って、つきだて花工房までお送りください。平成19年6月30日の消印まで有効です。

絵手紙教室
ムーン講座
日程：4月16日/5月21日/6月18日(全月曜日の10時) 受講料：1000円
春の分子 かね 窓
草花 たらが首とみかみして
春の分子 咲くじきさす
福島市・五十嵐裕子様
月館町・伊藤カツヨ様

手
編集後記
学生時代から手先の器用な人に憧れていました。家庭科の裁縫や夏休みの工作にはいつも頭を抱え、大抵は養母の助けを借りました。今でも捨てきれず筆箱に眠る母柄のバジマは、中学時代、泣きながら作った思い出の作品です。
人の手には様々な表情があります。「わらばらち」をつくる菅野さんの手は、緻が刻まれ、こうこうしていましたが、長く働き通したその手からは柔らかな温かみが伝わってきました。一本一本の葉を編み、草履や蓑に変える魔法の手です。悲しくもぶぎゅちよの私といえは、食事の前に「いただきます」と手を合わせるくらいでしょうか。(佳代)

ムーンセゾー 月の明かりで疲れた心を癒したい。いますくカレンダーにチェック!!
[満月の夜] 5月2日(水)・6月1日(金) 7月30日(月)
[新月の夜] 4月17日(火)・5月17日(木) 6月15日(金)
木もれび通信28号 読者プレゼント 応募券